

主な記事	
2~3面	令和2年6月定例会の概要
4~5面	議員の紹介
6面	特集 初代議長 濱口 梧陵
7面	各委員会の紹介
8面	議会活動の紹介 県議会からのお知らせ

# わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

和歌山の話題

## 和歌山県内最大 大塔山県立自然公園が誕生



植魚の滝(古座川町)

大塔山を主峰とする山岳地帯(田辺市、新宮市、古座川町)を県立自然公園に指定(令和2年5月7日)。県内最大の県立自然公園(9,968ha)で、貴重なブナ林をはじめ地域固有種を含む希少な動植物が多く生息しています。

重要文化財旧和歌山県会議事堂  
(岩出市)

# 和歌山 再生!



岸本 健議長

濱口 太史副議長

令和2年6月、  
新しい体制となった和歌山県議会。  
岸本健議長、濱口太史副議長に  
お話をお伺いしました。

当時の議事堂の模型を前に

### 岸本 健議長



Q 昨年議長に就任され、1年が経ちました。引き続き、議会の運営を担われる今のお気持ちをお聞かせください。

A 身に余る光栄です。これまでも増して、しっかりと議長長の職を全うしてまいります。

Q この1年を振り返って、いかがでしたか。

A 昨年は「令和」という新たな時代の幕開けとなり、令和初の議長として、「即位礼正殿の儀」など様々な皇室行事に参列させていただき、令和新時代へ、希望と期待を新たにしたいところです。そして、後半は「新型コロナウイルス感染症」の発生です。お招きをいただいた。

### 濱口 太史副議長

Q 副議長に就任おめでとうございました。今のお気持ちを聞かせください。

A 議員として10年の節目に、大変光栄で重責ある職に選任いただき、身の引き締まる思いです。

Q これまで取り組まれてきたこと、ご自身の活動テーマなどを教えてください。

A 三世代が同じ地域に暮らす「昔ながらの生活の形」を取り戻し、各々の世代が支え、励まし合える仕組みを創ること、今我が国が抱える人口の減少や少子高齢化など様々な課題に対する解決の糸口にならないかと考えています。また、私のふるさと新宮市を含む紀南地域は古くから「熊野」呼ばれてきました。この「熊野」ブランドを最大限に活用し、交流人口の増加を図る取組を続けています。「癒し」や「蘇り」といったイメージを現代風に確立させ、

ておりました多くの行事等が中止または延期となりました。ただ、この間、感染症の拡大を阻止すべく、仁坂知事はじめ関係の方々、医療や福祉に従事される皆様には、昼夜を問わず懸命にご尽力いただきました。そして、多くの県民、事業者の皆様には、自粛や休業要請に多大なご協力を賜りました。一人の県民として誇りにあります。ここに、改めて皆様様に敬意と感謝の意を表します。

Q 今後の抱負をお聞かせください。

A 初心を忘れることなく、公平で公正かつ円滑な議会運営に務めてまいります。また、農業の振興や教育の充実に加え、「新型コロナウイルス感染症」感染防止の取組や、今回大きな打撃を受けた県経済の立て直し、ふるさとの再生に、皆様の声を聞きながら力を尽くしてまいります。

多くの方々に元気になっていただければと思っております。

Q 「新型コロナウイルス感染症」の影響が大きく残る中、その対策を含め、今後の抱負をお聞かせください。

A 岸本議長への補佐役をしっかりと務め、円滑な議会運営に取り組めます。

また、岸本議長もお話しの「新型コロナウイルス感染症」による経済や観光への影響を克服し、生活や事業を守ることや、自然災害に対する防災対策など、和歌山の発展、県民の皆様の安心と幸せを実現するため、に努力してまいります。





# 6月定例会の概要

会期 6月9日～6月26日の18日間

## 会期中の主な動き

- 副議長の選挙…6月10日
- 委員及び正副委員長の選任…6月10日  
(常任委員会、予算特別委員会及び議会運営委員会)
- 関西広域連合議会議員の選挙…6月10日

質問議員 16人

6月17日(水)		6月18日(木)	
藤山 将材	秋月 史成	坂本 登	長坂 隆司
高田 由一	中 拓哉	佐藤 武治	岩井 弘次

6月19日(金)		6月22日(月)	
玄素 彰人	林 隆一	北山 慎一	谷口 和樹
杉山 俊雄	鈴木 徳久	玉木 久登	新島 雄

## 議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	3件	令和2年度和歌山県一般会計補正予算 等	可決
条例案件(議員提出)	1件	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例	
条例案件(知事提出)	7件	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 等	同意
人事案件( // )	10件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて 等	
その他案件( // )	3件	財産の取得について 等	可決
諮問( // )	1件	退職手当の支給制限に対する審査請求に関する諮問について	知事の決定書(案)は適当と認める
請願	1件	地域住民の医療・福祉を支える医療・介護従事者への支援を国に求める意見書の提出を求める請願書	不採択
意見書	4件	防災・減災、国土強靱化対策と地域経済復興に向けた社会資本整備の更なる推進を求める意見書	可決
		新型コロナウイルス感染症対策の推進を求める意見書	
		インターネットによる誹謗中傷を防止する対策を求める意見書	
		地方財政の充実・強化を求める意見書	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

### 新型コロナウイルス感染症対策関連

#### 今後の感染症対策

**問** 第2波、第3波に向けた備えはどうか。

**答** 保健医療行政の要は、今後も感染者の早期発見・早期隔離・徹底した行動歴調査のいわゆる「和歌山方式」の実行にあると考えます。

早期発見に不可欠な検査体制の強化のため、県環境衛生研究センターにPCR検査機器を増設します。また、地域の中核病院へPCR検査機器を配備することにより、手術前患者や分娩前妊婦に検査を実施できる環境を整備します。

加えて、重症化リスクの高い高齢者等が利用する福祉施設等の環境の整備やマスク・消毒液などの購入等の経費を支援する

など、保健医療体制の整備を強化して、再流行に備えます。

#### 事業継続支援金の支給条件

**問** 県の事業継続支援金の支給対象を売上が50%以上減少した事業者に限定した根拠は何か。

**答** 速やかな支給と申請書類の簡素化のため、売上50%以上減少を支給条件とする国の持続化給付金と同様の扱いにしています。

県としては、減少率が50%以上に至らない事業者に対しても、事業継続推進補助金や、無利子の県融資制度などの活用を、産業別担当者制度などを通じて支援してまいります。

#### 今後の観光振興策

**問** 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた観光事業者への支援と今後の観光振興策についてはどうか。

**答** 売上げが減少した事業者に事業を継続するための支援金や補助金の給付をはじめ、5月には新たな融資枠など県独自の包括的支援策を創設し、本定例会では融資枠の拡大や観光客の受入環境設備に対する補助を提案しています。

新型コロナウイルス感染症の流行沈静化の見通しが確認できた段階では、国が予定している「GOTOトラベル」事業とも連携し、収束状況に応じて、対

象地域を段階的に拡大しながら、さらなる誘客につなげてまいります。

#### バイロークル運動

**問** 急激に売上げが減少している観光業や飲食業に対してバイロークルという視点からどう考えているのか。

**答** 地域内で利用できるクーポンの発行などの支援策により、地域内の消費を活性化させるバイロークル運動が地域に根付くことは、素晴らしい取組です。事業者が、バイロークル運動に取り組むに当たり、事業継続推進補助金や県民リフレッシュ販売促進事業の取組により、地域の消費を喚起し、地域経済の活性化を図ってまいります。

#### 今後のスポーツ大会の開催と支援

**問** 県高等学校総合体育大会などの中止に伴う代替大会等の開催と県の支援について伺う。

**答** 県教育委員会では、感染症予防をはじめ、熱中症防止等への対策のために部活動再開のガイドラインや、今後の感染状況と大会開催についての目安を示しています。

今後、開催が検討されている県独自の大会等において、安全・安心な運営となるよう様々な面で支援をしてまいります。

県環境衛生研究センター



### 学校における熱中症対策

**問** 学校では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、どのような熱中症対策を行うのか。

**答** 各学校では、空調設備の両立を図ります。  
また、マスク着用時にも、小まめに水分補給を行うとともに、登下校時や体育の授業などで、熱中症等が危惧される場合には、児童生徒の間隔を十分に確保した上でマスクの着用を求めないといった対策を行います。

さらに、日頃の体温測定や健康観察により、引き続き健康管理を徹底していきます。

### 学習の遅れ

**問** 臨時休業措置による学習の遅れを取り戻すために、教員OBを活用してはどうか。

**答** 本県では、再任用教員、臨時的任用講師、非常勤講師として既に約750名を任用しています。

今後は、臨時休業で生じた学習の遅れを取り戻すため、補充授業等を行う学習指導員等の配置を考えているところです。  
こうしたところにも、退職教員をはじめとして多くの方々に協力をいただきながら、子供たちの学習を強力に支援していきたいと考えます。

### 県道白浜久木線の整備

**問** 整備の進捗状況と今後の取組についてはどうか。

**答** 白浜町庄川から久木間のうち通行不能区間約4.7キロメートルの解消を図るため、先に事業化した久木側は、久木トンネルが完了するなど、橋梁工事や工事用道路の整備を進めています。また、庄川側では、出合橋から山中橋までの間に、工事用車両の進入路を確保するための路側工事を進めています。

現地の地形が急峻で、特に峠の前後区間では急勾配となることから、現道の利用は困難と判断し、新たにトンネルを含めたルートにより安全な走行が可能となるよう検討しており、今後、用地取得や工事を推進していきます。



久木トンネル

### 緊急浚渫推進事業

**問** 令和元年台風第19号による災害を受けて、国が財政措置をすることとなった河川等の浚渫を行う事業に、県としてどのように取り組むのか。また、田辺市・西牟婁地方では、どのような箇所を対象とするのか。

令和元年台風第19号による災害を受けて、国が財政措置をすることとなった河川等の浚渫を行う事業に、県としてどのように取り組むのか。また、田辺市・西牟婁地方では、どのような箇所を対象とするのか。

**答** 現時点では、県管理53河川、二川ダム、18箇所等の防施設で事業を計画し、今年度は人家への影響が大きく土砂の堆積が著しい箇所から取り組んでおり、約10億円の事業執行を予定しています。なお、田辺市・西牟婁郡では、富田川などの8河川や大塔川の砂防堰堤を予定しています。

### 熊野川の濁水軽減対策

**問** 熊野川における濁水軽減対策の現状について伺う。

**答** 各機関において、発生源対策として崩壊地のり面対策、河道への土砂流出防止対策及び河道内の堆積土砂の撤去を推進しています。また、ダム貯水池での対策として電源開発(株)が風屋ダム及び二津野ダムで濁水防止フェンスの設置等を行いました。なお、二津野ダムの排砂パイパスについては、貯水池への土砂堆積の抑制や、洪水後の濁水の downstream への早期排出のみならず、治水上の効果も期待できる構造にならないか同社に働きかけていきます。

### 切目王子の世界遺産追加登録

**問** 切目王子(印南町)の世界遺産追加登録について、知事の所見はどうか。

**答** 学術的にも大変価値のあるものと認識しており、まずは、世界遺産登録の前提となる国の史跡指定を目指し、熊野

参詣道の紀伊路のほかの候補地とともに、史跡指定の後、機が熟せば、世界遺産の追加登録を目指します。



切目神社(切目王子)

### 歴史物語のアピール

**問** 本県の歴史物語をさらに深く追求し、県内外にアピールしてはどうか。

**答** 「わかやま歴史物語」の特別企画として、現在、古事記、日本書紀ゆかりの地を旅する「わかやま記紀の旅 周遊スタンプラリー」を実施しています。また、今後改訂を予定している「わかやま歴史物語」のストーリーの拡充を図り、知的好奇心を満たす和歌山の旅を県内外にアピールしていきたいと考えます。

また、今後改訂を予定している「わかやま歴史物語」のストーリーの拡充を図り、知的好奇心を満たす和歌山の旅を県内外にアピールしていきたいと考えます。

### わかやま歴史物語：神話の時代から近代に至るまでの県内各地に点在する歴史、それらにまつわる秘話、インスタ映えスポット、人・文化・食・温泉・体験など、和歌山をまるごと楽しめるストーリーを「100の旅モデル」として紹介しています。

<http://wakayama-rekishi100.jp/>

### 高校入試の在り方

**問** 学習状況が各学校で異なることを踏まえ、高校入試

の出題範囲等を早期に示すべきではないか。

**答** 現中学3年生には、夏季休業期間の短縮により授業時間を確保し、過度の負担なく、学習すべき内容を卒業までにきちんと学べるよう計画するとともに、増員した教員や学習指導員などを指導に充て、きめ細やかな対応をしていきます。

今後、各市町村教育委員会を通じて、各中学校の学習状況等を把握し、よりよい方法を講じていきます。

### 田辺・西牟婁地域の県立高校の定員

**問** 昨年度の県立高校入試結果の総括と田辺・西牟婁地域の県立高校の定員について伺う。

**答** 昨年度の高校入試における全日課課程の本出願倍率は、0.90倍となりました。みなべ、田辺・西牟婁地域においては、志願者が定員を超過した学校があったものの、多くの生徒が行きたい学校に進学したものと考えています。

### 指定管理者制度

**問** 指定管理者制度について、指定管理期間を5年から3年に変更したのはなぜか。また、今後5年に見直す考えはないのか。

令和3年度の県立高等学校募集定員については、地域の子供たちの人数や各学校・学科の特徴を踏まえ、10月末に総合的に判断します。

**答** 指定管理期間については、急速な時代の動きの中で、県民ニーズの変化に応じた業務の見直しを行うため、原則3年としてきたところです。現在は、維持管理が主たる業務となる施設は原則3年を維持する一方、創意工夫の余地が大きいソフト事業の業務割合が高く、指定管理者のノウハウ蓄積に時間を要する施設は例外的に5年としています。したがって、ご指摘を踏まえ、今後よく考えていきます。

指定管理者制度：民間事業者のノウハウ等を活用することにより、より効果的な管理運営を行い、住民サービスのさらなる向上と行政コストの削減を図ることを目的として、公の施設の管理運営を、地方自治体が指定した「指定管理者」が行う制度です。

### 農業後継者の育成

**問** 農業次世代人材投資事業における親元就農への支援と、後継者育成の今後の取組について県はどう考えているのか。

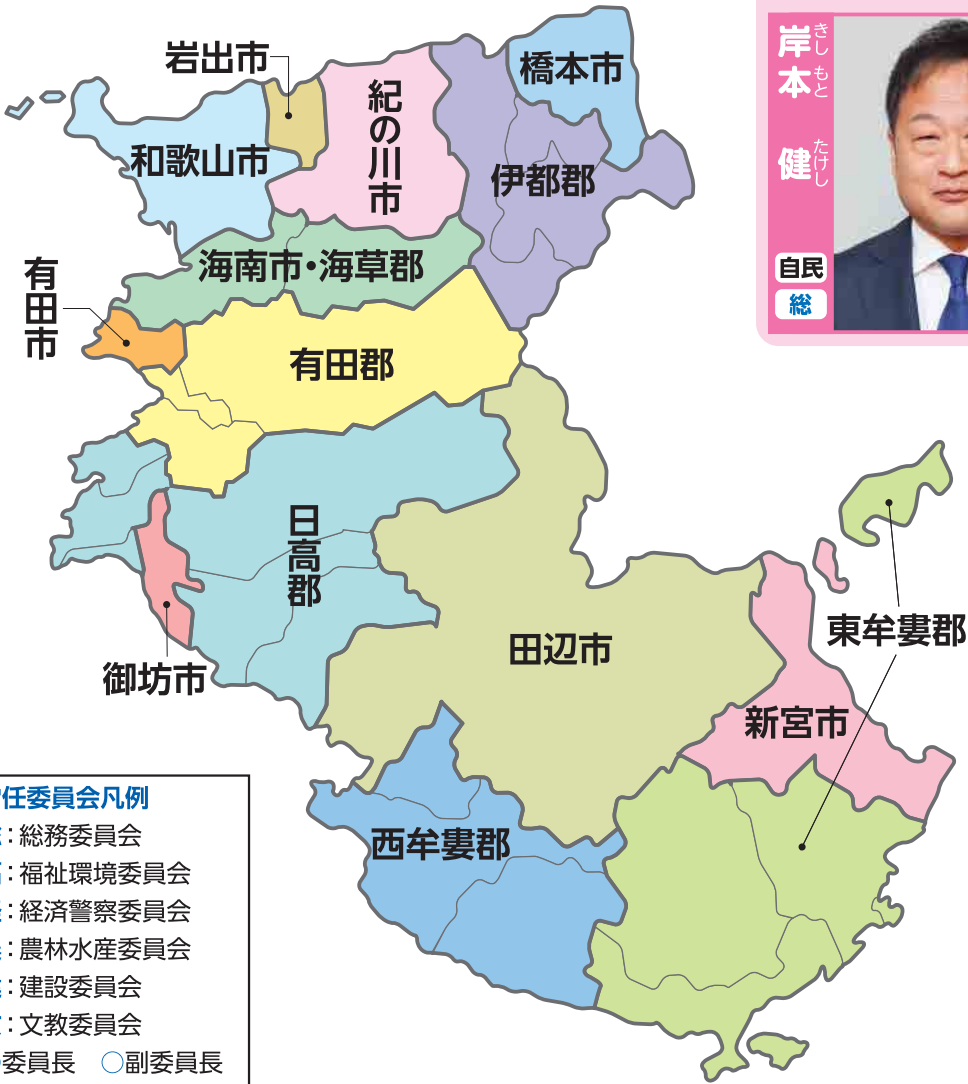
**答** 県では、農業次世代人材投資事業の要件を満たし資金の交付が受けられるようサポートしてきた結果、資金の交付を受けた方の約6割が、親元就農した農家の子弟となっています。

今後、後継者育成のため、農林大学校等での人材養成をはじめ、経営力向上のための農業経営塾の開催に加え、所得向上を図るための生産・販売対策に取り組んでいきます。



# の紹介

の議員を紹介します。



- 常任委員会凡例**  
 総：総務委員会  
 福：福祉環境委員会  
 経：経済警察委員会  
 農：農林水産委員会  
 建：建設委員会  
 文：文教委員会  
 ●委員長 ○副委員長

**紀の川市**  
(定数3人)

やまだ まさひこ  
**山田 正彦**  
自民 文

**伊都郡**  
(定数1人)

ほり たつお  
**堀 龍雄**  
自民 経

きしもと たけし  
**岸本 健**  
自民 総

すぎやま としお  
**杉山 俊雄**  
共産 文

**橋本市**  
(定数3人)

なかにし みねお  
**中西 峰雄**  
自民 総

なかもと こうせい  
**中本 浩精**  
自民 建

いわた ひろひこ  
**岩田 弘彦**  
自民 農

**岩出市**  
(定数2人)

かわばた てつや  
**川畑 哲哉**  
自民 文

きたやま しんいち  
**北山 慎一**  
自民 福

**西牟婁郡**  
(定数2人)

**東牟婁郡**  
(定数2人)

**田辺市**  
(定数3人)

すずき たいゆう  
**鈴木 太雄**  
自民 総

**新宮市**  
(定数1人)

あきづき ふみなり  
**秋月 史成**  
自民 建

たに よういち  
**谷 洋一**  
自民 農

すずき とくひこ  
**鈴木 徳久**  
自民 経

たにぐち かずき  
**谷口 和樹**  
改新 農

はまぐち たいし  
**濱口 太史**  
自民 文

たかだ よしかず  
**高田 由一**  
共産 建

さとう たけじ  
**佐藤 武治**  
自民 農



# 議員

あなたのまち

**和歌山市**  
(定数15人)

岩井 弘次  
いらい ひろつぐ  
公明 農

森 礼子  
もり れいこ  
自民 農

中 拓哉  
なか たくや  
公明 文

多田 純一  
ただ じゅんいち  
公明 建

長坂 隆司  
ながさか たかし  
改新 農

山下 直也  
やました なおや  
自民 経

井出 益弘  
いで ますひろ  
自民 経

尾崎 太郎  
おざき たろう  
自民 総

藤本 眞利子  
ふじもと まりこ  
改新 文

林 隆一  
はやし りゅういち  
維新 経

奥村 規子  
おくむら のりこ  
共産 総

宇治田 栄蔵  
うじた えいぞう  
自民 建

新島 雄  
にいじま たけし  
自民 福

片桐 章浩  
かたぎり あさひろ  
改新 経

浦口 高典  
うらぐち こうてん  
改新 福

**選挙区**  
(定数●人)

氏名  
ふりがな

会派  
委員会

- 会派凡例
- 自民：自由民主党県議団
  - 改新：改新クラブ
  - 共産：日本共産党県議団
  - 公明：公明党県議団
  - 無会：無所属の会
  - 維新：日本維新の会

**海南市・海草郡**  
(定数3人)

尾崎 要二  
おざき ようじ  
自民 経

中西 徹  
なかにし とおる  
無会 総

藤山 将材  
ふじやま まさき  
自民 総

**有田郡**  
(定数2人)

**有田市**  
(定数1人)

玉木 久登  
たまき ひさと  
自民 福

**御坊市**  
(定数1人)

楠本文郎  
くすもと ふみろう  
共産 福

吉井 和視  
よしい かずみ  
自民 建

**日高郡**  
(定数3人)

富安 民浩  
とみやす たみひろ  
自民 建

坂本 登  
さかもと のぼる  
自民 文

玄素 彰人  
げんそ あきひと  
自民 福

山家 敏宏  
やまが としひろ  
自民 福



# 和歌山県議会初代議長

はま ぐち ご りょう

# 濱口 梧陵



## （令和2年（2020年）は生誕200年）

文政3年（1820年）紀伊国広村（現在の広川町）に醤油商人である濱口七右衛門の長男として誕生しました。天保2年（1831年）本家に当たる千葉県銚子のヤマサ醤油店濱口儀兵衛の養子となり、醸造と販売の実務を行いました。また、家業に従事する傍ら、三宅良斎、佐久間象山などの先覚者に学び、後の「耐久社」とよばれる私塾（現在の広川町立耐久中学校・和歌山県立耐久高等学校）を開設し、青少年の教育に力を注ぎました。

安政元年（1854年）広村に激震とともに、大津波が襲いました。梧陵は、避難の道しるべとして路傍の稲むらに火を放ち、多くの村人を救いました。この話は「稲むらの火」として現在にも語り継がれています。その後、私財を投じて被災者を救護し、堅固な防波堤である広村堤防を築造しました。

明治4年（1871年）に梧陵は大久保利通の命を受けて駅通頭（後の郵政大臣に相当）に就任したのをはじめ、明治12年（1879年）には和歌山県議会初代議長に選任されました。

和歌山県初の県議会は、同年5月5日から会期を延長しながら6月22日までの49日間にわたり開催され、梧陵は議長として取り仕切りました。その後、明治14年（1881年）10月に議員を辞職するまで議長を務めました。

和歌山県庁には、梧陵の功績を称え銅像が建立されています。生誕200年の節目を迎え、濱口梧陵の偉業を顕彰、発信していきます。

参考：「わかやま何でも帳」  
和歌山県教育委員会 編集・発行

和歌山県庁北別館駐車場横にある  
初代議長 濱口梧陵の銅像



### 初代議長 濱口梧陵 年表

- 文政3年（1820年）……1歳 ※年齢は全て数え年で表記  
6月15日 紀伊国広村で生誕
- 嘉永3年（1850年）……31歳  
佐久間象山の門に出入り  
勝海舟と出会う
- 嘉永5年（1852年）……33歳  
広村に稽古場（私塾、後の耐久社）を開設
- 嘉永6年（1853年）……34歳  
七代目儀兵衛を襲名（ヤマサ醤油「当主」）
- 安政元年（1854年）……35歳  
11月5日（新暦12月24日）、安政南海地震が発生し、「稲むらの火」を掲げ村民救済
- 安政2年（1855年）……36歳  
広村堤防築堤開始
- 安政3年（1858年）……39歳  
10月 江戸の店が安政江戸地震で被災  
広村堤防完成
- 安政6年（1859年）……40歳  
種痘館（前年火災で再興のため二百両を寄付  
勝海舟に咸臨丸乗船を誘われるが断念
- 文久元年（1861年）……42歳  
医学研究費用として西洋医学所（種痘館を改名）に四百両を寄付
- 明治元年（1868年）……49歳  
1月29日 紀州藩勅定奉行に就任
- 明治3年（1870年）……51歳  
12月 和歌山藩権大参事に就任
- 明治4年（1871年）……52歳  
7月 駅通正に就任  
8月 初代駅通頭に就任
- 明治12年（1879年）……60歳  
国会開設建言の惣代  
和歌山県議会初代議長に就任
- 明治15年（1882年）……63歳  
12月 木国同友会を組織
- 明治17年（1884年）……65歳  
5月30日 横浜から出帆し渡米
- 明治18年（1885年）……66歳  
4月21日 ニューヨークで客死 福沢諭吉、勝海舟らが横浜で会葬を営む

#### コラム

#### 世界津波の日

平成27年（2015年）12月の国連総会で、11月5日が「世界津波の日」として定められました。これは日本を含め142の国が、津波の脅威と対策について理解と関心を深めることを目的に共同提案し、全会一致で採択されたものです。

11月5日が「世界津波の日」とされたのは、安政元年（1854年）11月5日、安政南海地震による津波が発生した際の梧陵の逸話「稲むらの火」にちなんだものです。



広川町役場前にある稲むらの火広場の銅像



広村堤防



# 各委員会の紹介

## 委員会の役割

### 本会議

#### 委員会付託

本会議で提出された議案等を議決に先立って議員が分担して詳しく調べるため、委員会(常任委員会または特別委員会)に審査を付託します。

#### 調査

議案等を付託された委員会では、その事務を担当する部長の出席を求め、詳しい説明を聞きます。  
また、必要に応じ現地調査などを行います。

### 委員会審査

#### 審議

調査を元に議案等を審議し、委員会としての意思を決定します。



### 本会議

#### 表決

委員長が委員会での審査の結果を本会議に報告します。  
議案等について、議員が賛成・反対の討論をし、多数決で議案等の可否を決定します。

### 本会議

議場に全議員が出席して開かれる会議を本会議といひ、議会の権限に基づいて最終的な意思決定を行います。



### 委員会

委員会には常設の「常任委員会」と特定の事項を審議するために設置される「特別委員会」があります。



議案等を付託

審査の結果を報告

◎委員長 ○副委員長

## 議会運営委員会 (定数12人)

(令和2年6月10日選任・就任)

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| ◎鈴木 太雄 | 森 礼子  | 山田 正彦 |
| ○堀 龍雄  | 尾崎 要二 | 藤本真利子 |
| 藤山 将材  | 岩田 弘彦 | 高田 由一 |
| 宇治田栄蔵  | 新島 雄  | 中 拓哉  |

#### 審議内容

議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会条例に関する事項等について調査審議します。

## 特別委員会

(令和元年5月21日選任・就任  
予算特別委員会は令和2年6月10日選任・就任)

### 防災・国土強靱化対策特別委員会

(定数11人)

- |        |       |
|--------|-------|
| ◎井出 益弘 | 富安 民浩 |
| ○中本 浩精 | 坂本 登  |
| 堀 龍雄   | 長坂 隆司 |
| 森 礼子   | 奥村 規子 |
| 濱口 太史  | 多田 純一 |
| 尾崎 要二  |       |

#### 審議内容

防災、減災、迅速な復旧・復興等諸般の災害に関する施策について調査審議します。

### 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会

(定数10人)

- |        |       |
|--------|-------|
| ◎吉井 和視 | 玉木 久登 |
| ○藤本真利子 | 山下 直也 |
| 藤山 将材  | 杉山 俊雄 |
| 岸本 健   | 中西 徹  |
| 北山 慎一  | 林 隆一  |

#### 審議内容

人権、少子高齢化問題等に関する施策について調査審議します。

### 行政改革・基本計画等に関する特別委員会

(定数10人)

- |       |       |
|-------|-------|
| ◎新島 雄 | 鈴木 太雄 |
| ○中 拓哉 | 岩田 弘彦 |
| 鈴木 徳久 | 尾崎 太郎 |
| 山家 敏宏 | 浦口 高典 |
| 玄素 彰人 | 楠本 文郎 |

#### 審議内容

行政改革、県行政に係る基本計画等及び関西広域連合について調査審議します。

### 半島振興・地方創生対策特別委員会

(定数11人)

- |        |       |
|--------|-------|
| ◎宇治田栄蔵 | 佐藤 武治 |
| ○谷口 和樹 | 山田 正彦 |
| 中西 峰雄  | 片桐 章浩 |
| 秋月 史成  | 高田 由一 |
| 川畑 哲哉  | 岩井 弘次 |
| 谷 洋一   |       |

#### 審議内容

半島地域の振興対策及び地方創生に関する施策について調査審議します。

## 予算特別委員会 (定数20人)

- |        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| ◎尾崎 太郎 | 中西 峰雄 | 佐藤 武治 | 長坂 隆司 |
| ○岩田 弘彦 | 森 礼子  | 新島 雄  | 高田 由一 |
| 中本 浩精  | 尾崎 要二 | 山田 正彦 | 岩井 弘次 |
| 堀 龍雄   | 玉木 久登 | 谷口 和樹 | 中 拓哉  |
| 井出 益弘  | 吉井 和視 | 片桐 章浩 | 中西 徹  |

#### 審議内容

県の予算を総合的に審議します。

## 常任委員会

(令和2年6月10日選任・就任)

### 総務委員会

(定数7人)

- ◎中西 峰雄
- 鈴木 太雄
- 藤山 将材
- 岸本 健
- 尾崎 太郎
- 奥村 規子
- 中西 徹

#### 審議内容

- 県財政
- 危機管理
- 文化振興 など

#### 所管する部局

知事室・総務部・企画部・会計管理者・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員など

### 福祉環境委員会

(定数7人)

- ◎玉木 久登
- 楠本 文郎
- 山家 敏宏
- 北山 慎一
- 玄素 彰人
- 新島 雄
- 浦口 高典

#### 審議内容

- 福祉・子育て
- 高齢者・障害者施設
- 産業廃棄物対策 など

#### 所管する部局

環境生活部・福祉保健部

### 経済警察委員会

(定数7人)

- ◎堀 龍雄
- 片桐 章浩
- 鈴木 徳久
- 井出 益弘
- 尾崎 要二
- 山下 直也
- 林 隆一

#### 審議内容

- 観光
- 産業と雇用
- エネルギー
- 交通安全と治安 など

#### 所管する部局

商工観光労働部  
公安委員会・労働委員会

### 農林水産委員会

(定数7人)

- ◎谷口 和樹
- 佐藤 武治
- 森 礼子
- 岩田 弘彦
- 谷 洋一
- 長坂 隆司
- 岩井 弘次

#### 審議内容

- 農業・林業・水産業の振興 など

#### 所管する部局

農林水産部・海区漁業調整委員会・内水面漁場管理委員会

### 建設委員会

(定数7人)

- ◎中本 浩精
- 秋月 史成
- 宇治田栄蔵
- 富安 民浩
- 吉井 和視
- 高田 由一
- 多田 純一

#### 審議内容

- 道路網・港湾設備
- 治水・砂防事業
- 都市政策・公園・建築 など

#### 所管する部局

県土整備部・収用委員会

### 文教委員会

(定数7人)

- ◎中 拓哉
- 川畑 哲哉
- 濱口 太史
- 山田 正彦
- 坂本 登
- 藤本真利子
- 杉山 俊雄

#### 審議内容

- 学校教育
- 生涯学習・文化財
- スポーツ振興 など

#### 所管する部局

教育委員会



# Information

## 県議会からのお知らせ

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

### テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

#### テレビ テレビ和歌山(WTV)

##### 県議会だより(予定)

開会日、質問日及び閉会日の22時30分から25分間放送  
(9月定例会の放送 9 / 9、16~18、23、29)

##### 県議会手話だより(予定)

閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送  
(9月定例会の放送10 / 13)

#### ラジオ 和歌山放送(WBS)

##### 県議会ダイジェスト(予定)

開会日、質問日及び閉会日の21時30分から15~30分間放送  
(9月定例会の放送 9 / 9、16~18、23、29)

### 県議会ホームページ

- 県議会の仕組みや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/index.html>

和歌山県議会

### 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

#### 令和2年9月定例会 会期日程(予定)

本会議	9月9日(水)
本会議(質問)	9月16日(水)~18日(金)・23日(水)
常任委員会	9月24日(木)・25日(金)
本会議	9月28日(月)・29日(火)

※要約筆者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

発行日 / 令和2年8月9日  
編集・発行 / 和歌山県議会  
TEL073-441-3560 FAX073-441-3559  
〒640-8585(県庁専用郵便番号)  
和歌山市小松原通1丁目1番地

## 4月臨時会の概要

会期 4月22日・4月23日の2日間

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	令和2年度和歌山県一般会計補正予算	可決
専決処分報告( // )	3件	令和元年度和歌山県国民健康保険特別会計補正予算等	承認
意見書	4件	新型コロナウイルス感染患者等に対応する看護職員に関する意見書	可決
		新型コロナウイルスによる休校措置に伴う児童・生徒対策に関する意見書	否決
		輸血用血液不足に対する献血活動の促進と安全確保に関する意見書	
		新型コロナ対策における外出自粛・休業要請と一体の補償を求める意見書	

質問議員 2人 藤山 将材 | 長坂 隆司

### 新型コロナウイルス感染症対策約114億円の増額補正予算案を可決

4月22日に開催した本会議において、医療提供体制の整備等に要する経費として、総額113億9280万2000円の増額補正等を行う本年度一般会計補正予算案など計4件の議案が知事から提出されました。翌23日に、これらの議案に対して藤山将材議員と長坂隆司議員が質疑を行った後、委員会審査を経て、本会議で採決が行われた結果、全ての議案を全会一致で可決しました。

このほか、提出された意見書案のうち「新型コロナウイルス感染患者等に対応する看護職員に関する意見書」を全会一致で可決しました。

## 5月臨時会の概要

会期 5月11日

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	令和2年度和歌山県一般会計補正予算	可決

質問議員 1人 藤山 将材

### 県内事業者の事業継続支援等約38億円の増額補正予算案を可決

5月11日に開催した本会議において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内事業者の事業継続支援に要する経費として38億1128万4000円の増額補正等を行う本年度一般会計補正予算案が知事から提出されました。この議案に対して藤山将材議員が質疑を行った後、委員会審査を経て、本会議で採決が行われた結果、全会一致で可決しました。

## Topics 議会活動の紹介

### 関西広域連合議会7月臨時会

7月4日(土)、関西広域連合議会7月臨時会が大阪府立国際会議場(大阪市)で開催され、一般質問に藤本眞利子議員が登壇しました。その中で、特に今般の新型コロナウイルス感染症により、日本における感染症対策の脆弱な実態が明らかになったことを指摘し、保健所・衛生研究所をはじめとする保健医療機能の強化を図っていく必要があるとし、各構成府県市がそれぞれ取り組んで



いく上で、関西広域連合として、今後どのように連携を進めていくのかについて質問しました。本質問に対し、広域医療担当委員の飯泉嘉門徳島県知事から、保健所・衛生研究所の体制や機能強化が喫緊の課題となっているとの認識とともに、現在、構成府県市間における経験を共有する取組を進めているところであり、さらなる広域医療連携を進めることで、関西広域連合が一丸となって、第2波、第3波に備える、万全の保健医療体制を構築して参りたいとの答弁がありました。

### 関西広域連合議会議員

6月定例会で次の4名の議員が関西広域連合議会議員として選出されました。また、宇治田栄蔵議員が理事に就任するとともに、鈴木太雄議員が産業環境常任委員会委員長に選任されました。



宇治田 栄蔵 議員



鈴木 太雄 議員



藤本 眞利子 議員



楠本 文郎 議員